

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例No. 28

区分 清掃

【質問】

環境清掃にはディスポーザブルではない布雑巾を使用していますが、その管理をどうすればいいでしょうか？

【回答】

標準予防策として環境整備にはディスポーザブルのタオルを使用し、患者ごとに交換することが理想です。しかし、コスト面を考えると導入が困難な場合もあるので、長期的にご検討いただき、例えば、消毒が必要な場面のみディスポタオルを使用し、それ以外は布雑巾を使用するといった使い分けもよろしいかと思えます。

布雑巾を用いる場合、1枚ですべての環境清掃を行わないなど、汚染を広げない工夫が必要です。例えば、①患者ごとにバケツの水で洗いながら使用し、水は部屋ごとに交換する、②部屋の数の枚数を用意し、部屋ごとに交換するなどの運用を検討されることをお勧めします。

また、使用後の雑巾は清拭用タオルなどと同等の十分な洗浄（熱水洗濯または次亜塩素酸ナトリウム液への浸漬）や乾燥が必要です。布雑巾は乾燥させることで微生物の繁殖を低減させることができますので、各部署の汚物処理室などで洗って室内に干すのではなく、風通しのいい場所で速やかに乾燥させるようにしてください。